

第3学年 図画工作科学習指導案

日時 2007年10月23日(火)第2校時
場所 春日北小学校 3年2組教室
指導者 教育センター所員 西岡 速人

授業の概要

両面色違い造形紙(デザインペーパー)を利用し、折ったり切ったりしながらつなぎ合わせ、自分のイメージにあった帽子づくりをする授業です。本講座のテーマである「楽しさを実感できる授業」を目指すために、個性豊かな表現を導く表現技能の習得を図るような指導の手立てを提案します。

1 題材名 カラフル ぼうし

2 題材設定の理由

(1) 題材の意義

色画用紙は着色されているため、華やかさを感じるものである。本題材で使う両面色違い造形紙(以下造形紙と略す)は一般的に使われる色画用紙とは違い、厚さもあり、折り曲げたり立体工作をしたりと色合いの違いを生かした表現活動することに適している。帽子をつくる活動は、単なる工作ではなく、自分自身が身に付けるということを考えながらの活動となり、自分に合うように大きさや形を変更したり、装飾を考えたりしながら作り出せる題材である。限られた材料の中で、形や飾りを考え表現させることは、試行錯誤を繰り返しながら制作させる意味でも意義深い。そこで、本題材は、用意した造形紙6枚セットを材料として用意し、折る、切る、つなげる等の活動を設定する。さらに、造形紙をねじる、曲げる、筒状に丸める、折り目を付けて折る等の造形紙の加工する要素に気付かせ発想を広げる力をはぐくみたい。接着にはホッチキスやのりを効果的に使うことで思いを広げ、他の材料も補助的に取り入れながら自分の表現したい作品になるように仕上げさせていく。

(2) 児童の実態

ほとんどの児童が図工の時間を楽しみにしており、絵を描くことや粘土でつくることに興味をもっており、1学期にも紙コップを利用した紙工作の経験もある。一般的にこの時期の子どもたちは、身近にある材料の色や形などの特徴を基に、子どもらしい想像を広げ、楽しみながら活動する様子が見られると言われている。そこで、本題材では、硬さのある特徴を生かし、豊かな想像力や立体的な造形感覚を伸ばしたいと考えている。子どもたちにとって紙工作の経験はあるので、カラフルな造形紙を用意することで、子どもたちの制作する意欲を高めたい。のりによる接着にも慣れているが、立体的な制作活動になるため、ホッチキスも使用し、丁寧に工作していく能力も身に付けさせたい時期と考える。

(3) 指導の着眼点(研究の内容)

指導にあたって、以下のような研究目標、仮説の基に学習指導を展開していきたい。

・研究の目標

表現する楽しさを実感できる子どもが育つ図画工作科学習の在り方を探る。

・研究の仮説

授業の中で、子どもたちの表現したい思いや願いを大切にしながら、表現技能の習得を図り、表現意図に合った作品づくりができる指導の工夫をすれば、子どもたちは創造性を発揮し個性的な活動が広がるであろう。

図画工作科では、材料を通して、子どもたちの感じる、気付くという感覚を鋭くすることが求められる。

単に材料に出会うだけでなく、本題材の場合はどんな不思議な帽子をつくりたいかという自分の思いをもつことが大切である。また、材料の特徴に気付き、おもしろい形を見つけ、自分の作品へのこだわりをもたせたい。そこで、学習過程の中に、表現技能を高められるような場を設けることで、目標が達成できると考える。そのため、本題材では計画の第1次の各展開の中に「アイデアタイム」として設定していきたい。本題材では、以下のような時間になる。

アイデアタイム 造形紙の折り方や切り方、つなぎ方を確認し、自分の表したい帽子に近付くためにはどうしたらよいか考える時間

本時の指導にあたっては、「導入」段階で造形紙のよさに気付かせ、いろいろな表現ができることに興味をもたせる。そして、「展開」段階では、活動の中で基本的な折り方や曲げ方を確認し、アイデアタイムを取り入れて子どもたちの思いを広げられるようにする。「まとめ」の段階では、今日の活動を振り返って、帽子の形のおもしろさに気付くような視点をもって感想を交流できるようにしていきたい。

3 題材の目標()と評価規準()

造形紙による表現に興味をもち、帽子の形のおもしろさを考えながら組み合わせ、色や形の美しさを感じることを通して、つくり出す喜びを味わうことができる。

造形紙に興味をもち、自分の思いにあった帽子をつくっていく活動を楽しんでいる。

(造形への関心・意欲・態度)

造形紙を切ったいろいろな形を組み合わせながら、その形を生かしながら構成していくことができる。

(発想や構想の能力)

自分の表現意図に合わせて、造形紙を折ったり切ったり、貼ったりしながら制作することができる。

(創造的な技能)

造形紙のつなぎ方や切った形のおもしろさを見つけ、自分や友だちの作品のよさを考えながら、鑑賞することができる。

(鑑賞の能力)

4 題材の指導計画 (全4時間)

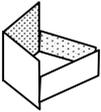
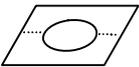
次	配時	主な学習活動	主な指導上の留意点と教師の働きかけ	具体的な評価規準				評価資料
				関	発	技	鑑	
1	3 — 本 時 1/3 —	<ul style="list-style-type: none"> 造形紙を基にどんな帽子をつくりたいか思いをもつ。 自分の思いにあった帽子を制作していく。 友だちの活動を見て、作品のよさに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> 造形紙の加工方法に興味をもたせる。 アイデアタイムを通して、つくりたい飾りをつくる。 友だちの作品のよさに気付かせ、自分のつくりたい帽子の思いを広げられるようにする。 					観察、発言、作品
								観察、作品、
								作品 感想カード
2	1	<ul style="list-style-type: none"> 作品発表会をする。(友だちの作品鑑賞) 	<ul style="list-style-type: none"> 造形紙の組み合わせ方や切り方に着目できるように言葉をかけ、鑑賞させる。 					発言、作品 作品カード
準備するもの (児童) はさみ、のり、ホッチキス (教師) デザインペーパー、鏡、ヘアピン								

5 本時とその指導

(1) 本時の目標 (第1時)

材料の造形紙を加工することに興味をもち、つくりたい帽子の形をつないでつくっていく活動を楽しもうとする。

(2) 本時の展開(9:20~10:05)

過程	学習活動(研究にかかわる部分)	教師の働きかけ()と形成的評価()
<p>導入</p> <p>展開</p>	<p>1 今日の活動について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帽子の王様(校長先生)の写真を見る。 ・画用紙や色画用紙で工作をした経験を発表する。 ・造形紙の特徴について感じたことを発表する。 <p>2 材料を基に活動する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(めあて) できるカラフルぼうしの形をつくろう。</p> </div> <p>・帽子の基本形を決めて形をつくる。</p> <p>基本形</p> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>筒型</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>四角型</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>穴あけ型</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>とんがり型</p>  </div> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・つなげながら形を考える。 ・形を考えながらつなげる。 ・帽子の飾りをつくる。 <p>アイデアタイム</p> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>丈夫なつくりになっているか、他の切り方、つなぎ方などを考える。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・折り曲げて形をつくる。 ・丸めて飾りをつくる。 	<p>造形紙による帽子の写真を見せて、材料の特徴に興味をもたせる。</p> <p>使ったことのある経験などを聞き、造形紙の特徴に気付かせる。</p> <p>参考作品を示し、加工方法に気付かせどんな活動ができそうか想起させる。</p> <p>自分のつくりたいものを想像し、活動を楽しむことができるように、帽子の基本形や造形紙のつなぎ方、切り方について示す。</p> <p>ホッチキスの使い方(針を打つ場所、打ち方)を確認し、表現したい思いを広げられるようにする。</p> <p>造形紙を組み合わせながら表現する活動を楽しんでいるか。(造形への関心・意欲・態度)</p> <p>造形紙をいろいろな形に変形し、さまざまな形をつくりながら活動が進んでいる。</p> <p>表現意図を確認し、他の組み合わせも進むように励ます。</p> <p>造形紙を組み合わせながら、帽子の形を表している。</p> <p>もっと違う表現はないか、友だちの表現にも気付かせる。</p> <p>どんな形の帽子をつくるかアイデアが浮かばず、活動が進んでいない。</p> <p>帽子の基本形を示し、造形紙につなげる飾りをつくる楽しさを知らせる。</p> <p>アイデアタイムを基に造形紙の加工方法を考えさせ、さらに思いを広げて制作する楽しさに気付かせる。</p>
<p>まとめ</p>	<p>3 今日の活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちや自分の活動を見る。 ・どんな活動をしたか紹介する。 ・帽子をかぶってどこへ行きたいかを発表する。 <p>4 次時の活動を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動を生かして、工夫してみたいことを発表する。 	<p>造形紙の形やつなぎ方などに注目して友だちの活動を振り返ることができるように、鑑賞する視点を示す。</p> <p>つくった思いや帽子の形の意味を説明できるように帽子を身に付ける場面を想定した質問をする。</p> <p>今日の活動を基に、付けたい飾りを確認し、次時への思いを広げさせる。</p>

6 評価基準表

時	主な学習活動	学習活動における 具体的な評価規準 (評価資料)	評価基準および評価後の支援 ()		
			(十分に満足)	(おおむね満足)	(努力を要する)
1 (本 時)	・造形紙の形を 組み合わせな がら、表現す る活動を楽し む。	【関】 造形紙の形に興味をも ち、形を変えながら活 動を楽しもうとする。 (形を組み合わせしてい る活動様子の観察と作 品制作の進度)	・造形紙をいろいろな 形にし、帽子をつくる ための飾りづくりも 進んでいる。 表現意図を確認し、 さらに活動を進めら れるように励ます。	・造形紙をいろいろな 形にし、帽子をつくる ための基本形づくり が進んでいる。 もっと違う表現はな いか、友だちの表現に も気付かせる。	・思いをもてず、帽子を つくるための基本形 づくりが進んでいな い。 児童と一緒に活動し て、形をつなく楽しさ を知らせる。
2 3	・造形紙の形を 生かし、つくり たい帽子へと 飾りを考えて いく。	【発】 造形紙のいろいろな 形を組み合わせなが ら、構成していくこ とができる。 (加工している活動の様 子や作品)	・造形紙のいろいろな 形を、表現意図にあっ た形につなぎ、さまざ まな表現をしている。 活動を称賛し、帽子 への思いを広げさせ る。	・造形紙のいろいろな 形を、表現意図にあっ た形にし、つないでい る。 他に生かせる形はな いか、材料をもとに見 立てる活動を進めさ せる。	・造形紙の組み合わせ が単調で、加工が少な い。 基本形を基につくり たい帽子にふさわし い表現方法を知らせ る。
	・自分のつくり たい帽子の思 いに合わせて、 造形紙をつな ぐ。	【技】 造形紙をいろいろな形に たりつないだりして、 表したい帽子をつくる ことができる。 (活動の様子、作品)	・造形紙を思いにあっ た形に組み合わせ、し っかりと飾りもつな ぐことができる。 いろいろな形への変 形にも着目させる。	・造形紙を加工して、固 定し飾りをつなぐこ とができている。 方法と組み合わせ方 についても気付かせ る。	・造形紙の固定がうま くいかず、装飾が進ん でいない。 しっかり押さえるな ど、つなく方法に気付 かせる。
4	・自分や友だち の帽子につい て、色や形など を考えながら 鑑賞する。	【鑑】 友だちの表現のおもし ろさに気付くことがで きる。 (発言、鑑賞カード)	・友だちの作品を鑑賞 し、造形紙の活用の方 法や色や形にも触れ ながら、感じたことを 書いている。 造形紙の細かい加工 や組み合わせ方に着 目させ、制作者の思い についても考えさせ る。	・友だちの作品を鑑賞 し、造形紙の形に触れ ながら、感じたことを 書いている。 友だちはどんな思い つくっているかを考 えさせてカードに記 入させる。	・友だちの作品につい て、活動の感想などの 感じたことを書いて いる。 作品の形に着目し、 好きな友だちの作品 について考えさせて、 カードに記入させる。